*早稲田大学国際教養学部 2005 年度数学 (表紙、空白ページ省略。注意書き等は例年通りです)

問 1. (1) 複素数平面上の 2 点を $A(z_1)$, $B(z_2)$ とする。また A を中心として , B を負の向きに 30 $^{\circ}$ 回転した点を $C(z_3)$ とする。いま , $z_1=1+i,\ z_2=-1+4i$ のとき

$$z_3 = \frac{ \boxed{ \mathcal{P} } - \boxed{ 1 } \sqrt{3} }{2} + \left(\frac{ \boxed{ \dot{\mathcal{D}} } + \boxed{ \mathbf{I} } \sqrt{3} }{2} \right) i$$

である。また, $3 ext{ 点} w_k = (1-i)z_k$ (k=1,2,3)がつくる三角形の面積は

である。

(2)

$$\sin x + \sin y = \frac{2}{3}$$
 , $\cos x \cos y = \frac{1}{2}$ のとき ,

$$\sin x \sin y = -\frac{7}{5}$$
, $\sin \frac{x+y}{2} = \pm \frac{3}{5}$

である。

(3) 10 ユーロ, 20 ユーロ, 50 ユーロの紙幣を使って支払いをする。 ちょうど 50 ユーロを支払う方法は シ 通りある。

また,ちょうど 200 ユーロの支払いをする方法は ス セ 通りある。

ただし,どの紙幣も十分な枚数を持っているものとし,使わない紙幣があってもよいと する。

問2. 座標平面上の集合

$$A = \{(x,y)|x^2 + (y-2)^2 \le 4\},$$

$$B = \{(x,y) \mid y \ge 2\}$$

に対して,集合

$$P_t = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 < t\}$$

を考えるとき,次の問いに答えよ。ただし,次の「ソ」,「夕」には, それぞれの選択肢の中の。~ のうちから正しい番号を選んで入れよ。 「チ」には.正しい数を入れよ。

(1)

 $(A \cap B) \cap P_t \neq \phi$ かつ $(A \cap B) \cap \overline{P_t} \neq \phi$ となるtの範囲は ソ である。

(選択肢)

0
$$2 < t < 4$$
 $2 < t \le 4$ $2 \le t < 4$
 $2 \le t \le 4$ $4 < t < 16$ $4 \le t < 16$ $4 \le t \le 16$

(2)

 $A \cap \bar{B} \subset P_t$ となるtの範囲は タ である。

(選択肢)

$$\begin{array}{lll} 0 & 2\sqrt{2} < t & 2\sqrt{2} \leq t & t < 2\sqrt{2} \\ & t \leq 2\sqrt{2} & 8 < t & 8 \leq t \\ & t < 8 & t \leq 8 \end{array}$$

(3) t = 8のとき , $A \cap B \subset \bar{P}_t$ の面積は チ である。

問3. 座標平面上に点P(0,p)を中心とする半径pの円Cと 2 次曲線

$$Q: y = \frac{1}{4}x^2$$

がある。

- (1) 円Cが 2 次曲線Qと原点O以外で交わらないための条件は $p \leq \boxed{$ ツ である。
- (2) p > のときにこの円と 2 次曲線の交点のx座標は

$$x = \pm \sqrt{\boxed{\mathcal{F}} p - \boxed{\mathsf{F}}}$$

である。

- (3) 2 次曲線Qと円Cの交点のうちx座標が正となる点をAとするとき, OPA < 90°となるのはp < 二 ののときである。
- (4) OPA < 60°となるのは

のときである。このとき,2本の直線PO,APと2次曲線Qで囲まれた図形の面積は

J	八	./2
E	フ	V 3

となる。